

令和2年度  
環境経営レポート

対象期間 令和2年5月1日～令和3年4月30日  
発行年月日 令和3年8月2日

日興電気株式会社

## 目次

1. 挨拶・・・P.3
2. 環境経営方針・・・P.3
3. 事業概要&認証登録範囲・・・P.4
4. 実施体制・・・P.5
5. 環境経営目標及び環境経営計画・・・P.6
6. 環境経営目標の達成状況及びその評価・・・P.8
7. 環境経営計画の実施状況及びその評価・・・P.9
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無・・・P.11
9. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示・・・P.12

## 1. 挨拶

この度は弊社の環境経営レポートをご覧いただき誠にありがとうございます。  
社会における環境への意識の高まりを感じる中、弊社としても環境配慮は社会的責務であると認識し、日々の事業活動においても取り組みを継続しているところであります。エコアクションの認証取得を通じて、全社員がより一層の環境配慮に対する取組強化に臨み、社会への信頼と期待に応えたいと考える所存であります。

代表取締役会長 岩館 正明

## 2. 環境経営方針

### (基本理念)

弊社は創業から半世紀以上にわたり電気設備工事業を営み、地域発展のために微力ながら力を尽くして参りました。地球温暖化や環境汚染が大きな社会問題となっている中、今後も引き続き地域と共存していくためには環境への配慮が不可欠であり、そのために力を尽くしていかねばなりません。特に、エネルギーに関わる弊社の事業は、社会や環境に配慮する責務があり、またその責任は重大であると考え、地球温暖化防止と環境負荷の低減のために、社員一丸となって取り組む事を誓約します。

### (環境保全への行動指針)

#### 1、CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）排出量の削減

電気や化石燃料の使用によって排出されるCO<sub>2</sub>の削減に努めます。

#### 2、廃棄物の削減と資源の有効利用

一般廃棄物、産業廃棄物の削減と、再利用可能な資源の分別と有効利用に努めます。

#### 3、水資源の節制

事業所内で使用する水の節水に努めます。

#### 4、地域社会の環境保全活動の参加

地域活動や環境保全活動に積極的に取り組みます。

#### 5、環境に関する法規制の遵守

事業活動に関連する環境関連法規等は確実に遵守します。

#### 6、環境配慮型技術の普及推進

環境負荷の低減に資する製品の拡販に積極的に取り組みます。

制定日：平成 26 年 7 月 31 日

改定日：令和元年 10 月 10 日

日興電気株式会社

代表取締役会長

岩館正明

### 3. 事業概要&認証取得範囲

#### □組織の概要

名称及び代表者名 日興電気株式会社 代表取締役会長 岩館 正明

所在地 本社 岩手県花巻市豊沢町4-14  
ゴルフ事業部 岩手県花巻市本館165-8

#### 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

代表取締役社長 岩館 光 E-mail h.iwadate@nikkoden.co.jp  
TEL 0198-24-6311  
FAX 0198-24-2068

#### 事業活動の内容

- ・電気工事業 電気通信工事業 消防施設工事業  
(建設業許可(特-3)-第1798号 電気工事業 通信設備工事 消防施設工事)
- ・ゴルフ事業部(ゴルフ練習場)

#### 事業規模

(R3.4末時点)

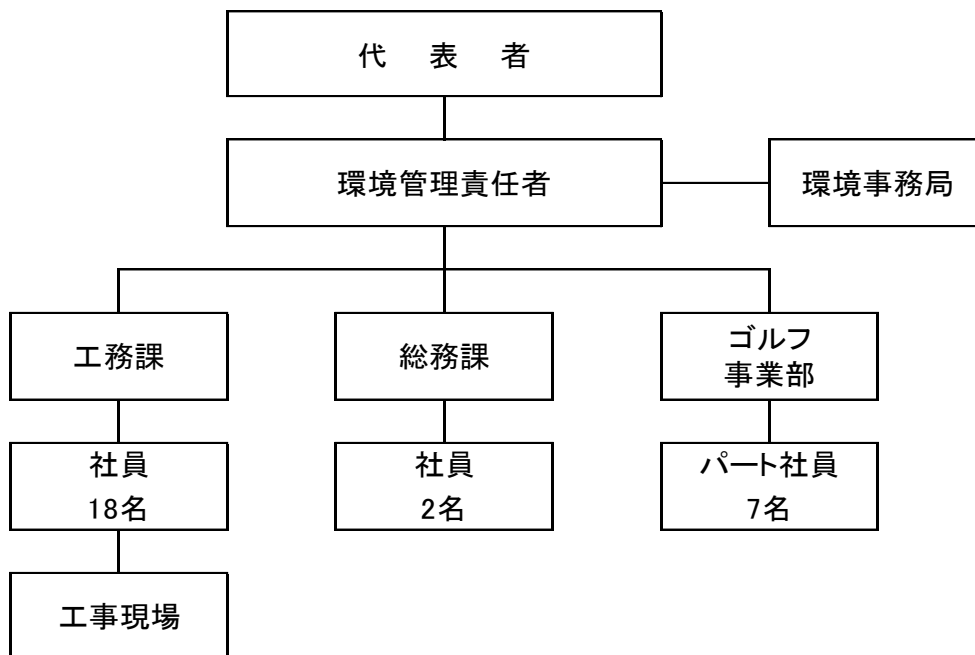
総売上	331,195	(千円)
工事件数	541	(件)
従業員	29	(名)
(うち、パート)	7	(名)
(うち、常勤役員)	2	(名)
延べ床面積	1,264.48	(㎡)
(うち 本社)	586.54	(㎡)
(うち、ゴルフ事業部)	677.94	(㎡)

#### □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 日興電気株式会社  
本社 電気工事業部(日興電気株式会社) 電気設備工事業  
関連事業所 ゴルフ事業部(花巻ゴルフガーデン) ゴルフ練習場運営

#### 4. 実施体制

##### (1) 組織



##### (2) 環境経営システム

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任者。
	・環境経営方針の策定、環境経営システムの運用に必要な資源(人、設備、資産)の調達。
	・環境経営システム全体の評価と見直しの実施。
	・環境経営レポートの承認。
	・環境管理責任者の任命。
環境管理責任者	・システムの構築、運用、チェック管理業務。
	・環境活動の結果を代表者へ報告。
	・環境経営レポートの作成。
	・外部コミュニケーション窓口。
環境管理事務局	・データの収集および集計、作図・作表。
	・その他、環境管理責任者の業務補佐。
部門責任者	・各部において環境管理活動の行動目標を設定・実施。
	・環境管理担当者に成果を報告、フィードバックを受けて改善。
	・各活動や実施体制に不具合があった際は是正や予防処置の実施。
全社員	・環境経営方針の理解、取組の重要性の認識。
	・環境経営方針に従い、自主的、積極的に環境活動へ参加。

5. 環境経営目標及び環境経営計画

(1) 主な環境負荷の実績

項目	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
<b>CO2 排出量</b>	<b>kg-CO2/年</b>	<b>71,439</b>	<b>73,240</b>	<b>80,300</b>
・電力	kg-CO2/年	22,370	19,080	17,541
・ガソリン、軽油	kg-CO2/年	36,238	41,548	50,980
・灯油、都市ガス、LP ガス	kg-CO2/年	12,831	12,611	11,779
<b>廃棄物排出量</b>				
・産業廃棄物	kg/年	9,530	34,610	5,820
・一般廃棄物	kg/年	3,700	6,090	4,189
<b>総排水量</b>	<b>m<sup>3</sup>/年</b>	<b>463</b>	<b>447</b>	<b>611</b>
<b>グリーン購入</b>	<b>件数</b>	<b>58</b>	<b>67</b>	<b>52</b>
<b>環境配慮製品の拡販</b>	<b>件数</b>	<b>17</b>	<b>19</b>	<b>27</b>

(2) 環境経営目標

平成 30 年度を基準年とし、単年度の環境目標を以下のように設定し、環境活動に取り組んでいます。

項目	単年度目標		
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
<b>CO2 排出量</b>	<b>5%減</b>	<b>6%減</b>	<b>7%減</b>
・電力	5%減	6%減	7%減
・ガソリン、軽油	5%減	6%減	7%減
・灯油、都市ガス、LP ガス	5%減	6%減	7%減
<b>廃棄物排出量</b>			
・産業廃棄物	5%減	6%減	7%減
・一般廃棄物	5%減	6%減	7%減
<b>総排水量</b>	<b>5%減</b>	<b>6%減</b>	<b>7%減</b>
<b>グリーン購入</b>	<b>3%増</b>	<b>4%増</b>	<b>5%増</b>
<b>環境配慮製品の拡販</b>	<b>20%増</b>	<b>30%増</b>	<b>40%増</b>

(3) 環境経営計画（中期取組内容）

対象	方針	目標項目	取組内容
CO2 排出量	削減	電力使用における CO2 排出量の削減	節電意識の定着化 照明の LED 化 エアコンの設定温度の適正化 昼休み中等不要な照明の消灯
		ガソリン・軽油使用 における CO2 排出 量の削減	エコドライブの励行 配車の適正化 空気圧の定期的なチェック 低燃費車両への更新
		灯油・LPG 等使用 における CO2 排出 量の削減	クールビズ、ウォームビズの取入れ 省エネ機器への更新 冷暖房の不要な部屋の電源を切る
廃棄物 排出量	削減	産業廃棄物の排出 量の削減	施エムラ、ムダの低減 発生した産業廃棄物の適正な管理・処分の徹底
		一般廃棄物の排出 量の削減	分別の徹底 再利用資源のリサイクル コピー用紙の使用量の削減
総排水量	削減	水道水使用量の削 減(節水)	節水意識の定着化 使用量の随時確認
環境製品	拡販	環境製品の拡販	LED 照明、エアコン等の環境負荷に配慮する製品 の販売件数(施工件数)の増加
グリーン 購入	増加	グリーン購入	事務用品において対象製品の購入品目の増加
地域活動	参加	ボランティア 地域清掃	地域活動への積極的参加。

## 6. 環境経営目標の達成状況及びその評価

令和2年度の取組みは、基準年比でCO2排出量が大きく増加し、目標値から2割近くも増加するという結果となりました。会社規模、売上共に例年並みの事業内容でありましたが、増加要因は主として「工事車両」にかかるガソリン・軽油の燃料費でした。

項目別に見ますと、電力については目標達成となりましたが、これは2017年版のガイドラインによる集計方法の見直しのためであり、冬期の使用量増加の傾向がみられることから今後の推移に注視する必要があります。ガソリン・軽油については、冬期の厳寒や大雪のためアイドリング増による増加（特に12～2月で増）や、遠方の現場が多かったことによる使用量の増加により目標未達となりました。灯油・ガスについては、必要最小限の使用に抑えることが出来、目標達成となりました。産業廃棄物については目標達成、一般廃棄物については目標未達となりましたが、現場の内容により増減のある項目であるので完全なコントロールは難しいものであり、引き続き適正な管理・処分に努めるものとします。総排水量については、ゴルフ事業部において修理は済んだものの地下埋設配管や構内排水管の漏水により大きく増加したため目標未達となりました。グリーン購入については、推進しているものの購入総数自体が多くないため目に見える効果はなく、目標未達となりました。環境対応製品の拡販については目標達成となり、引き続き拡販に努めます。

項目	単位	基準値 (平成30年度)	単年度目標			評価 ○:100%以上 △:80%以上 ×:80%未満
			令和2年度	目標値	実績値	
<b>CO2 排出量</b>	<b>kg-CO2</b>	<b>71,439</b>	<b>6%減</b>	<b>67,138</b>	<b>80,300</b>	<b>×</b>
・電力	kg-CO2	22,370	6%減	21,026	17,541	○
・ガソリン、軽油	kg-CO2	36,238	6%減	34,062	50,980	×
・灯油、都市ガス LP ガス	kg-CO2	12,831	6%減	12,050	11,779	○
<b>廃棄物排出量</b>						
・産業廃棄物	kg	9,530	6%減	8,958	5,820	○
・一般廃棄物	kg	3,700	6%減	3,478	4,189	×
<b>総排水量</b>	<b>m<sup>3</sup></b>	<b>463</b>	<b>6%減</b>	<b>435</b>	<b>611</b>	<b>×</b>
<b>グリーン購入</b>	<b>件数</b>	<b>58</b>	<b>4%増</b>	<b>60</b>	<b>52</b>	<b>△</b>
<b>環境配慮製品の拡販</b>	<b>件数</b>	<b>17</b>	<b>30%増</b>	<b>22</b>	<b>27</b>	<b>○</b>

※令和2年度の購入電力のCO2排出係数は東北電力公表値0.522及びエネット0.372を使用しました。



## 7. 環境経営計画の実施状況及びその評価

### (1) 実施状況及びその評価

項目		実施状況及びその評価	
		評価	取組内容
CO2 排出量	電力使用におけるCO2 排出量の削減	○	不要な照明のこまめな消灯等取り組んでいる
		△	冷暖房の適正配置と適正使用
		○	局所暖房を取り入れ節エネしている
		○	照明のLED化に取り組んでいる
		△	ゴルフ練習場の利用率向上に伴い使用量が增大
	ガソリン、軽油使用にお けるCO2排出量の削減	×	厳冬期にガソリン使用量が大きく増加 遠方の現場の増加
灯油、LPG等使用にお けるCO2排出量の削減	○	LPG、プロパンの削減は頭打ちか	
廃棄物 排出量	産業廃棄物の排出量の 削減	○	マニフェスト管理の徹底がされている
	一般廃棄物の排出量の 削減	△	分別の徹底がされている 売上増大に伴い排出量が增大
総排水量	水道水使用量の削減 (節水)	△	(本社)必要最低限の使用にとどめている
		×	(ゴルフ)地下埋設配管、構内排水管の漏水により増加
グリーン購入	グリーン購入	△	事務備品の購入額自体が減少している
環境製品の拡販	環境製品の拡販	○	LED照明、エアコンによる省エネ化は堅調
その他	設備・施設	○	事務所の受付に花鉢を置くようにした

### (2) 次年度の取組内容

#### 1. CO2排出量の削減

工事車両の使用量増加によるCO2排出は売上に比例していくためコントロールは難しいところではありますが、冬場の休憩等はアイドリングした車両内でおこなっているため、休憩所拡張等の整備により対策・環境向上に努めます。また、安全運転の励行によるエコドライブにより燃料費削減を図ることや、低燃費車両への更新も検討いたします。

電力使用量については、月次の使用量を随時確認し、異常値がないか結果を注視しながら環境活動に努めます。

## 2. 廃棄物の排出削減

現場の内容により増減のある項目であるので完全なコントロールは難しいものでありますが、引き続き適正な管理・処分に努めるものとし、排出量の削減に努めます。

## 3. 総排水量（節水）

事務所内で使用する水の大半は生活排水（トイレ・給湯）であり、張り紙をする等社員の意識向上に努め、引き続き活動に取り組むものとします。

ゴルフ事業部においては、月次の使用量を随時確認し、異常値がないか結果を注視しながら環境活動に努めます。

## 4. グリーン購入

対象製品の購入品目を増やすよう引き続き努めます。

## 5. 環境製品の拡販

当社の事業範囲においてはLED照明やエアコン等の環境配慮製品を多く取り扱っており、お客様に積極的に提案することによって環境配慮型社会の形成に寄与できるよう、今後も積極的な提案活動に努めます。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価、違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける環境関連法規について遵守状況をチェックした所、違反等はありませんでした。

また、過去三年間、関係当局からの違反等の指摘、住民からの苦情、訴訟等について問題はありませんでした。

法律・条令規則 の名称(略称)	条項	内容	遵守 状況
廃棄物処理法	第3条 事業者の責務	廃棄物の適正な処理と減量 国・地方公共団体の施策に協力	○
	第12条 事業者の処理	産業廃棄物の処理または委託基準の遵守 管理票の交付、回収・照会、保管・管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○
家電リサイクル法	第6条 事業者及び消費者の責務	特定家庭用機器廃棄物の適正な引渡し及び 費用の負担	○
建設リサイクル法	第5条 建設業を営む者の責務	建設資材廃棄物の発生の抑制	○
温対法	第5条 事業者の責務	温室効果ガスの排出の量の削減	○

なお、環境関連法規については、環境省ホームページや各種法令検索等を用いて確認しています。

9. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示

(1) 取組状況の評価

評価項目	内容	達成度
環境関連法の遵守状況	当社において環境関連法規に違反している事項はない。 産業廃棄物の排出方法についても関係部署間で周知徹底し取組んでいる。	100%
環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施状況、その評価結果	売上増加幅に比べ、CO2 排出量の増加が多く、ガソリンや総排水量等複数の目標未達があった。特にガソリンについては、近年稀に見る積雪や厳寒、遠方の現場が多かった等の要因による増加となった。環境活動の内容自体に大きな問題があったわけではないため、引き続き環境活動に努める。	80%
問題点の是正処置及び予防措置	車両の適正配置や省エネ車両への切替え、安全運転の励行によるエコドライブにより燃料費削減を図る。 月次の使用量を随時確認し、異常値がないか結果を注視しながら環境活動に努める。	
外部からの苦情等の受付結果	クレーム対応ノートを整備し記録を取っているが、今のところ発生していない。現場においても同様にクレームが発生していないが、何か問題が発生した際は速やかに報告するよう周知徹底する。	100%
組織に影響する法規制動向	特になし。	
取引先からのグリーン購入	特になし。	
エコアクション環境改善提案	社内の冷暖房機器の更新の他、断熱改修等により事務所内の環境改善と光熱費の圧縮を図るよう検討する。	
その他	特になし。	

(2) 見直し・指示

見直し項目	評価	改善及び指示
環境方針	環境方針に基づき活動を行うにあたり支障はないとみるので問題なし。	時になし。
環境目標	目標設定に対し、燃料費で大きく未達その他、改善効果の対策が頭打ちとなっている項目があるとみる。目標設定の見直しが必要な時期となっている。	現場住所に応じで変動が大きい燃料費の数値は目標設定が難しいが、諸々の取組みで削減努力を行うこと。 取組内容はできることから少しずつ項目を増やして管理するよう努めること。
環境経営計画及び環境経営システム	概ね達成している。	省エネの改善余地があり、その中でも効果的な方策については予算をつけて実行したいと考えるので引き続き完投すること。
その他	特になし。	
<p>全体評価</p> <p>令和2年度については、CO2 排出量削減目標が未達であるが、近年稀にみる厳寒・積雪の影響や遠方の現場の増加を鑑みれば止むを得ない結果とみる。但し、ガソリン・軽油使用量及び電気使用量の増加は引き続きモニタリングを行い、使用量の削減に努めること。</p> <p>今後は大きな成果を出す対策が限られてくると思われる。目標設定と達成も大切であるが、従業員の環境意識の向上が大事であり、決して成果のみにとらわれることのないよう、そもそもなんのためにEA21に取り組んでいるかをしっかり振り返り、今後の取組みに努めること。</p>		